

平成 25 年度大学入試センター試験における 「地理歴史」「公民」「理科」の成績利用方法について

平成 24 年 6 月
新潟県立大学

本学の平成 25 年度一般選抜入学試験における大学入試センター利用教科・科目のうち、「地理歴史」「公民」「理科」の成績利用方法について、下記のとおり取り扱います。

国際地域学科、子ども学科

【A 日程】

「地歴」「公民」「数学」「理科」について、複数の教科・科目を受験した場合は、『「地歴」「公民」「理科」の第 1 解答科目と「数学」の高得点科目のうち、高得点の 1 科目を合否判定に使用します。

【B 日程】

「地歴」「公民」「理科」について(下記図解参照)

- (1) 3 教科 3 科目以上受験した場合は、『「地歴」「公民」』の第 1 解答科目と、『「地歴」「公民」』の第 2 解答科目および「理科」の第 1 解答科目(1 科目受験者は当該科目)のうち高得点科目、の 2 教科 2 科目を合否判定に使用します。
- (2) 「理科」を含む 2 教科から 2 科目以上受験した場合は、『「地歴」「公民」』「理科」のそれぞれの第 1 解答科目(1 科目受験者は当該科目)の 2 教科 2 科目を合否判定に使用します。
- (3) 「地歴」から 1 科目、「公民」から 1 科目受験し、「理科」を受験していない場合は、「地歴」「公民」の 2 教科 2 科目を合否判定に使用します。

健康栄養学科


【B 日程】

「地歴」「公民」について、2 科目受験した場合は、『「地歴」「公民」』の第 1 解答科目を合否判定に使用します。

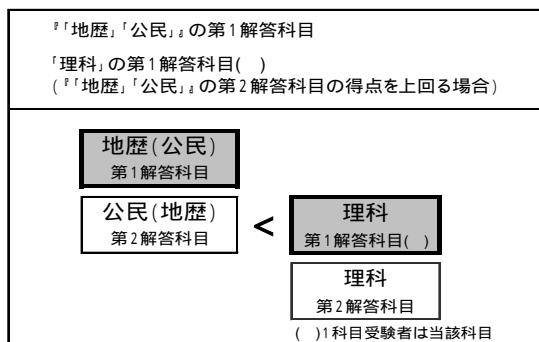
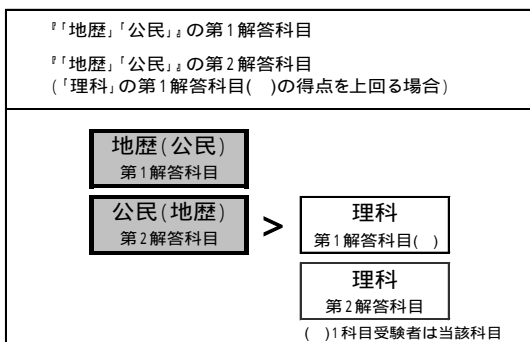
注)【国際地域学科 A・B 日程、子ども学科 A・B 日程、健康栄養学科 B 日程 共通】

「地歴」「公民」「理科」において、本学が指定する科目以外の科目(「世界史 A」「日本史 A」「地理 A」「理科総合 A」「理科総合 B」)を第 1 解答科目として受験した場合、それらの科目は無効となります。第 2 解答科目に本学が指定する科目を受験していても、それを第 1 解答科目の代わりとして合否判定に使用することはできません。

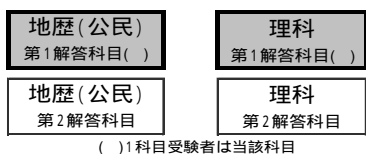
B 日程(国際地域学科、子ども学科)における「地歴」「公民」「理科」の成績利用方法 図解

 合否判定に使用する科目(下記) の、2教科2科目を合否判定に使用

(1) 3 教科 3 科目以上受験した場合



(2) 「理科」を含む 2 教科から 2 科目以上受験した場合



(3) 「地歴」から 1 科目、「公民」から 1 科目受験し、理科を受験していない場合

